

平成19年度幸区協働推進事業実施結果

資料5

1 区民との協働による区づくりを目指して

	事業名	事業概要	実施結果(成果)	予算額(円)	決算額(円)	20年度以降の事業の方向性
(1)	まちづくり推進事業	区民が自らの地域の課題を話し合い、実践活動を通じて解決することを目的として組織された、まちづくり推進委員会の運営を支援して区民と行政の協力によるまちづくりを推進します。19年度から第4期の活動が始まりました。同委員会には、「地域交通部会」「文化のまちづくり部会」「区民と行政をつなぐコミュニティ部会」の3つの部会を設置し、各々の取り組みを図ります。(地域振興課)	まちづくり推進委員会の全体会を5回、運営委員会を7回開催し、部会間の連携と取り組みの進行管理を行いました。また、3つの部会に分かれて勉強会やまち歩きなどを行い、次のとおり具体的な活動テーマを決定しました。 ・地域交通部会(7回開催)...新川崎駅、鹿島田駅周辺の放置自転車の根本的な対策を視野に入れたコミュニティ交通について。 ・文化のまちづくり部会(8回開催)...第3期の検討テーマをもとに歴史ガイドブックの内容の改定や充実を図ることと高齢社会における公園のあり方について。 ・区民と行政をつなぐコミュニティ部会(7回開催)...市内で最も緑被率の少ない幸区の水と緑のまちづくりをテーマとして、緑の保存や緑の団体に呼びかけるフォーラムなどの企画検討について。	3,737,000	2,163,000	見直し・改善のうえ継続
(2)	市民活動支援事業	幸区内で営利を目的としない自主的な社会貢献活動を行っている区民や団体を支援し、その活動を活性化させることを目的として、区役所庁舎内の市民活動支援コーナー「スペースcha-cha-cha」において、打合せ、印刷作業の場や、情報発信及び交流の機会を提供します。また、幸区河原町に設置している、区における市民活動支援拠点「幸市民協働プラザ」及び区内の行政情報と民間の情報を一体的に提供する「さいわいコミュニティサイト」の運営を行います。(地域振興課)	スペースcha-cha-chaの印刷作業コーナーについては年間延べ160団体、印刷枚数約19万枚の利用があるなど、市民活動活性化の一端を担っています。「幸市民協働プラザ」は利用登録団体数の新規増加がなかったことから、知名度向上を図るため、リーフレット1万部を作成し、施設の周知を図っています。また、インターネットサイト「さいわいコミュニティサイト」は一日平均3千件を超えるアクセスがあり、区内の市民・地域活動の推進に貢献しています。	3,829,000	2,275,972	見直し・改善のうえ継続
(3)	幸市民協働プラザ発進事業	地域の課題解決に営利を目的としない自主的な社会貢献活動を推進するため、河原町団地内に開設した「幸市民協働プラザ」を拠点に、運営主体となっている「さいわい市民活動懇談会」と協働で、地域交流フォーラムの開催、「さいわいタウンカフェ通信」の発行、ボランティア育成を実施します。(地域振興課)	幸タウンカフェ通信を4回(各回10,000部)発行したほか、区内の市民活動活性化を目的としたIT講座を9月及び3月(各回定員10名)、幸市民協働プラザにおいて開催しました。 平成19年11月17日には幸区における協働の事例紹介や「協働」について考える「協働事業フォーラム」を川崎市産業振興会館において開催し、100名の区民の参加がありました。	1,426,000	1,417,420	見直し・改善のうえ継続
(4)	シニア地域活動推進事業	概ね50歳以上の中高年(シニア世代)を対象にIT(情報技術)講座を実施し、ITを活用した情報提供・発信の環境づくりを推進するとともに、更なる市民・地域活動の活性化を図ります。(地域振興課)	平成20年2月にさいわい市民協働プラザで2日間のIT講座を実施しました(2月16日、23日・両日とも13時~17時)。定員10名のところ、23名と2倍以上の募集があり、シニア世代のIT技術習得への関心の高さが伺えました。講座はパソコンの基礎、インターネットの活用、ブログホームページの作成を主な内容とし、ブログホームページを使い自らがやっている市民・地域活動をPRする技術を習得することを目的として実施しました。受講者は講座内で自らのブログホームページを開設し、実際に更新等を行いながらIT技術を習得しました。	184,000	153,000	終了する
(5)	さいわいマイバッグキャンペーン事業	区民会議の提言(地域でのごみ減量・リサイクル)を受け、また「カーボン・チャレンジ川崎エコ戦略(CCかわさき)」の一環として、できることから始めるエコ行動(環境配慮行動)を啓発する取り組みを行います。そのキックオフとして、買い物に際して自分の買物袋(マイバッグ)を持参することを呼びかける、さいわいマイバッグキャンペーンを実施することで、環境配慮型ライフスタイルと地域での3R運動を促進します。(企画課)	平成20年3月15日から4月30日まで、さいわいマイバッグキャンペーンを実施し、区内の公共施設や商店街でのポスター掲示、チラシの配布、幸区へ転入した人に啓発グッズ「さいわいマイバッグ」を区役所窓口で贈呈、協賛イベントでさいわいマイバッグ配布など、環境配慮型ライフスタイルと地域での3R運動を促進する啓発活動を、市民、地域団体、商店街等と協力して行いました。	1,764,000	1,292,550	見直し・改善のうえ継続

	事業名	事業概要	実施結果(成果)	予算額(円)	決算額(円)	20年度以降の事業の方向性
(6)	さいわい区民フォーラム開催事業	第1期幸区区民会議の2年間の取り組み、提言した内容などを報告するとともに、地域の課題解決に向けた取り組みへの参加と協働を呼びかけるフォーラムを開催します。 区民会議提言にもとづいて地域の取り組みを、どのようにつなげて広げていくか、また、「ごみ減量・リサイクル」の提言をテーマに、地域ではじめる地球環境にやさしい取り組みなどについて、区民会議委員をパネリストによるディスカッションを行いました。また、併せて区民会議の2年間の歩みを紹介するパネル展を開催します。(企画課)	平成20年3月15日、幸市民館大会議室でさいわい区民フォーラムを実施した。約150名の参加があり、地域の課題解決に向けた取り組みに、より一層の参加と協働を呼びかけることができました。また、3月13日から3月18日まで、幸市民館展示ギャラリーで「区民会議の歩み2006～2008パネル展」を開催しました。 第1期幸区区民会議の2年間の取り組み、提言した内容などを報告することなどを通じて、参加と協働による地域の課題解決を図る取り組みを、つなげ、広げるための課題共有と関係構築を促進することができました。	1,487,850	1,249,500	見直し・改善のうえ継続

2 豊かな心を育む地域文化の向上を目指して

(1)	音楽のまち推進事業	区民が身近な場所で音楽に親しめる環境をつくり、音楽によるまちづくりを推進することを目的として、区役所庁舎・市民館等を会場としたコンサート(夢こんさぁと)を実施します。(地域振興課)	幸区役所で2回、幸市民館で4回、日吉合同庁舎で2回、夢見ヶ崎動物公園で1回の合計9回開催し、毎回約200名の来場がありました。開催時に実施したアンケートでは9割以上が内容について「楽しかった」と回答しており、来場者からも高評価を得ています。	1,706,000	1,686,987	見直し・改善のうえ継続
(2)	夢こんさぁと10周年記念事業	平成9年度から区役所ロビーなどで開催している夢こんさぁとが、平成19年9月で10周年を迎えることを記念して、区内にあるミュージア川崎シンフォニーホールにおいて、10周年記念コンサートを実施します。(地域振興課)	平成19年8月31日に、ミュージア川崎シンフォニーホールでコンサートを実施し、応募者から抽選により当選した1000名が観覧しました。 会場アンケートの結果によると、95%の来場者が「楽しかった」と回答するなど高い満足度を得ることができました。また、42%の来場者が普段の「夢こんさぁと」への来場経験がなく、「夢こんさぁと」の認知度の更なる向上を図ることができました。	1,564,000	1,509,722	終了する
(3)	さいわい街かどコンサート事業	誰もが気軽に音楽を楽しめる環境を整備すると共に、ストリートミュージックを「音楽のまち・かわさき」の一端を担う文化として成熟させていくことを目的として、若い層を中心とした演奏者によるフリーコンサートを行います。(地域振興課)	平成19年9月にミュージア川崎ゲートプラザ、11月に区役所前庭、12月にミュージア川崎ガレリアを会場として、計3回コンサートを開催しました。3回で合計12組の出演予定に対し、2倍以上の31組の応募がありました。9月・12月はともに約200人の観客を集め、11月の第2回では、初めての試みとして緑化啓発イベントの「あおぞら花市」と合同で開催し、300人以上の観客を集めました。3回ともに観客アンケートでは8割以上、出演者アンケートでは9割以上が良かったと回答するなど、内容も好評でした。	1,208,000	974,400	見直し・改善のうえ継続
(4)	さいわい区民音楽祭事業	区民や企業内の音楽サークル等区内の音楽愛好家に演奏の機会と、併せて区民に気軽に音楽に親しむ機会を提供することを目的として、さいわい区民音楽祭を開催します。また、これを契機として音楽を通じたネットワークの構築を行うことで団体間の交流や技術の研鑽を図り、「音楽のまち・かわさき」のより一層の定着と推進を図ります。(地域振興課)	平成20年3月15日に幸市民館大ホールにおいて、公募により集まった区内で活動する6団体に加えて、区内に立地する(株)東芝の企業内サークル「東芝ライドオンジャズオーケストラ」をゲストに迎えてさいわい区民音楽祭を開催しました。当日はほぼ満席となる800人の来場があり、またアンケート結果では99%が「とても楽しかった」「楽しかった」と回答するなど、高い満足度を得ることができました。	1,233,000	1,096,710	見直し・改善のうえ継続

	事業名	事業概要	実施結果(成果)	予算額(円)	決算額(円)	20年度以降の事業の方向性
(5)	さいわいテクノ塾事業	幸区は、研究開発施設や科学技術関係機関が集積した地域となっている。「科学のまち・さいわい」の魅力をアピールするため、主に区内の青少年を対象とした科学技術体験講座を開催することにより、ものづくりの基礎となる科学技術を体験的に学べる場を提供します。また、各施設への区民の理解を深め、地域と当該施設との結びつきを図る契機とします。(地域振興課)	平成19年9月29日に東芝科学館において、科学実験教室を開催し、小学生51名とその保護者の参加がありました。種子を遠くへ飛ばす植物について、その原理について模型を作製して学ぶとともに、作製した模型を用いたゲームを行って科学の面白さを伝えたほか、館内のツアーも実施しました。 また平成20年3月8日、22日及び28日に、川崎市産業振興会館においてロボット作製体験講座を開催し、区内小中学校の6校から35名が参加しました。8日及び22日にロボットの作製を行い、28日には作製したロボットによる競技会を実施しました。 なおアンケート結果によると、東芝科学館では75%、産業振興会館では95%が楽しかったと回答しており、参加者の高い満足度を得られました。	2,158,000	924,910	見直し・改善のうえ継続
(6)	さいわい動物愛護推進事業	動物愛護の精神の普及啓発を推し進め、子どもたちの心に命の尊さを育むとともに、動物の適正な飼養管理について啓発を行い、動物による危害の未然防止と区民の生活環境の向上を図ります。 子供向けに動物愛護の小冊子を作成・配布、マナー向上のためのふん取り袋の配布、及び動物の適正飼養管理の普及啓発のための講習会を開催します。 災害時に備えてペットの飼い主の防災意識を高める講習会を開催します。(衛生課)	小冊子「ワンコからのてがみ」を2,000部作成し、区内小学校1年生(13校)及び動物病院やイベント等で配布しました。 また、親子動物愛護教室(参加者26名)、飼い方教室(参加者11名)、ペットの飼い主のための防災教室(参加者24名)を開催し、動物愛護の精神の普及ができました。講習会後のアンケートの結果から、知識が深まり受講してよかったなどの参加者の声が寄せられました。	320,000	314,718	見直し・改善のうえ継続
(7)	地域資源を生かしたまちづくり事業	日吉地区で、自然環境・歴史・文化・子育て等の様々な分野で活動している地域の団体・個人がネットワークをつくり、関係行政機関等と連携して、地域資源を活用した身近なまちづくりに取り組みます。 夢こんさぁととの連携 小学生対象のワークショップの開催 エコツアーの実施 「日吉のタカラモノガイドパネル」の設置 「日吉のタカラモノガイドマップ」の作成・配布 (生涯学習支援課)	加瀬山(夢見ヶ崎動物公園広場)で開催した「夢こんさぁと」と連携し、「日吉の『わっ』～日吉のタカラモノを次世代につなげるネットワーク」の活動を参加者に紹介。(平成19年7月27日) ・ワークショップ「日吉のタカラモノって何だ？」を主として小学生対象に実施。地域の歴史・昔遊び・昔話等。参加者100名(7月31日日吉小学校) ・「みつけた日吉のタカラモノ」を主として小学生対象に実施。「私のみつけた日吉のタカラモノ写真」の紹介等。参加者80名(8月26日日吉小学校) ・エコツアー「日吉のタカラモノ探し」を実施。小倉わんぱく広場 加瀬山 矢上川。参加者80名。(11月24日) ・「日吉のタカラモノガイドパネル」を夢見ヶ崎動物公園に設置。(平成20年3月) ・「日吉のタカラモノガイドマップ」を5000部作成。日吉地区の小学生、中学生及び希望する市民に配布。	1,449,000	1,449,000	見直し・改善のうえ継続
(8)	地域資源の活用・区の魅力づくり・魅力発信事業	「さいわいこどもページ(子ども用ホームページ)」の活用などにより、区内の地域資源(夢見ヶ崎動物公園、桜の名所)を区民に知ってもらい、親しんでもらいながら、幸区の魅力づくり・魅力発信を行います。(企画課)	さいわいこどもページの「さいわいくを知らう！」のコーナーに夢見ヶ崎動物公園の動物を紹介する「ゆめみのどうぶつ」と、桜の名所を紹介する「さいわいく桜のみどころ」の2つのコーナーを追加しました。インターネットを利用することにより、幸区の子どもに対する情報発信の充実を図るとともに、区の魅力づくり・魅力発信を行うことができました。	500,000	205,800	見直し・改善のうえ継続

3 花と緑いっぱいのまちづくりを目指して

	事業名	事業概要	実施結果(成果)	予算額(円)	決算額(円)	20年度以降の事業の方向性
(1)	花と緑のさいわい事業	区内の緑化の推進と区民の緑化意識の高揚を図るとともに、花と緑の潤いのあるまちづくりを推進することを目的として、区民が行う緑化活動の支援や公共施設の緑化、緑化に関するイベントや講座を実施します。 また、道路敷などの市有地を活用した緑豊かな環境づくりに取り組みます。(地域振興課、工事課)	緑化活動団体支援事業を実施し、花苗等を提供しました(19年9月に14団体、花苗3800株、用土1300リットル、花の種20袋・20年3月に14団体、花苗3900株、用土600リットル、花の種25袋)。 また、区庁舎前花いっぱい事業(19年7月、11月)、公共花壇花植え事業(19年6月、11月)をボランティアグループ「さいわい花クラブ」や区内の小・中学生と実施し、区内の緑化推進を図るとともに、あおぞら花市事業(19年11月、670人来場)、花と緑のエキスパート事業(19年9月から計5回の講座を実施、18人受講)を実施し、緑化意識の高揚を図りました。 また、さいわい歩道橋下の花壇に季節の花を植え、区民に潤いと安らぎを与える環境づくりができました。	5,991,000	3,700,099	見直し・改善のうえ継続

4 区民に身近な区及び区役所を目指して

(1)	さいわいガイドマップ改訂・増刷事業	区の地図や見所などの紹介を通じて、区への理解や愛着を深めることを目的として、主として転入者を対象にしたさいわいガイドマップ10,000部の増刷を行います。増刷にあたり、地図面及びバス停等の案内面を最新の情報に変更するとともに、情報面についても内容を精査の上、改訂を行います。(地域振興課)	川崎駅西口周辺での再開発事業をはじめとした地図面の更新のほか、情報面には区の事業紹介を掲載し、転入者に向けて幸区の魅力を伝える内容に改訂し、10,000部の増刷を行いました。	1,071,000	882,000	見直し・改善のうえ継続
(2)	区民に身近な区役所づくり推進事業	区民に身近な区役所づくりを推進するため、利用者である区民の視点に立った窓口サービスを向上させる取り組みを行います。転入者歓迎封筒の作成、幸区役所フロア案内の作成、カウンターの改善を行います。(区民課、保険年金課、保健福祉サービス課)	幸区への転入者に対して、「かわさき生活ガイド」「ごみカレンダー」等の情報誌を一括して入れて配布するため、転入者歓迎封筒を15,000部作成しました。幸区役所への来庁者に対して、フロア案内と業務の窓口一覧を印刷した案内を10,000部作成し配布しました。 また、窓口カウンター用仕切り保護パネルを区民課、保険年金課、保健福祉サービス課に設置し、窓口での個人情報保護が図られました。保険年金課国民健康保険の相談窓口のカウンターを高いものから低いものへ変更した結果、相談者は椅子に座り、安全・安心な環境で相談できるようになりました。	1,557,187	1,442,217	見直し・改善のうえ継続
(3)	シンボルマーク普及事業	区シンボルマーク入りの区長杯レプリカを各種スポーツ大会優勝チームへ贈呈したり、区のイベント開催時に啓発グッズの配布をしたりすることで、区シンボルマークの普及を図ります。(地域振興課)	スポーツを通じた地域の交流の場である各種スポーツ大会で、幸区シンボルマーク入り区長杯レプリカの授与や啓発グッズを配布することにより、幸区への愛着、ふるさと意識の醸成に一定の役割を果たすことができました。	882,000	868,559	終了する
(4)	幸区情報発信推進事業	幸区ホームページについて、音声読み上げソフト利用者が利用しやすくなるようウェブアクセシビリティの向上を図り、誰もが気軽にアクセスして情報を得られるようなホームページづくりをめざします。より区民にとって情報を入手しやすく親しみやすい媒体とするため、ページの修正・制作を行う。併せて、職員を対象としたホームページ研修会を実施し、ホームページ担当課のページ管理体制を確立させ、情報の逐次更新を促進します。(企画課)	音声読み上げソフト利用者が利用しやすくなるよう、共通に使用するナビゲーションを読み飛ばせるようにし、アクセシビリティの向上を図りました。区民会議のページを整理し読みやすくしたほか、バナー広告欄を設けるなど、ページのメンテナンスを行いました。各課の課長・主幹と担当者をそれぞれ対象としたホームページ研修会を実施し(計2回、33人参加)、情報の逐次更新を促進することができました。	966,000	409,500	見直し・改善のうえ継続

	事業名	事業概要	実施結果(成果)	予算額(円)	決算額(円)	20年度以降の事業の方向性
(5)	幸区区民アンケート事業	<p>区政運営や政策立案などの参考資料とするため、市民生活に関するいくつかのテーマについて、幸区民の生活意識や行政に対する意識を調査を行います。</p> <p>・調査対象 区内在住の20歳以上の男女 ・標本数 2,000人 ・標本抽出 無作為抽出 ・調査方法 郵送回収法 ・調査期間 平成19年11月30日～12月20日 (企画課)</p>	<p>区内在住の20歳以上の男女2,000人を対象に無作為抽出によりアンケート調査を行い、959件の回答があり、有効回収率は48.0%でした。区民の生活意識や行政に対する意識を調査し、今後の区政運営や政策立案などに役立つ資料を収集することができました。</p>	1,386,000	1,267,014	見直し・改善のうえ継続
(6)	区内ガイドサイン改訂事業	<p>公共機関(区役所等)へのアクセス及び周辺案内の機能を維持・強化し、訪問者等の利便性を高めることを目的として、掲載情報が古くなっている矢向駅前・市立商業高校前の周辺案内図の改訂を行います。(地域振興課)</p>	<p>矢向駅・市立商業高校前の周辺案内図を改訂しました。矢向駅前については改訂に伴い地図を大型化し、既存のものより風雨に強い仕様に変更しました。また商業高校前については案内図・施設案内ともに改訂し、新たにバス停等の情報を追加しました。</p>	704,000	231,000	終了する
(7)	保健福祉情報発信事業	<p>区民の保健・福祉に関する理解を深めるとともに利便性を高めることを目的として、保健福祉センターの保健・福祉サービス等の内容を掲載した情報誌「保健福祉センターだより」を作成し、区内の全世帯に配布します。(地域保健福祉課)</p>	<p>上半期版・下半期版ともに、保健福祉センター各課・担当の業務内容や催し物のお知らせを掲載し、区内の全世帯に配布しました。上半期版は、67,000部作成し10月に配布しました。講座開催日や相談日などの具体的日程を掲載したところ、申込件数が増加しました。下半期版は、70,000部作成し3月に配布。配布時期を考慮して、4月から行われる制度改正など、その時期にお知らせしたい内容を掲載しました。また、転入者への配布も視野に入れて区役所庁舎案内を掲載し、保健福祉センターを利用しやすいよう配慮しました。</p>	3,565,000	2,578,590	見直し・改善のうえ継続
(8)	幸区データブック発行事業	<p>幸区の様々な課題に関する各種統計データや情報を収集し、収集した統計データ及び情報に基づき課題及び問題点の整理・分析して、その成果をコンパクトにまとめた「幸区データブック」(愛称「さいわいデータブック」)を作成します。幸区役所における施策形成や区民会議の審議等の基礎資料として活用することで、参加と協働によるまちづくりを推進します。(企画課)</p>	<p>まちづくりに関心のある人を対象とする「詳細版」を100部作成し、市政資料コーナーや図書館等で閲覧できるようにしました。また、区民全般を対象に、幸区に特徴的な統計データを詳細版から抜粋し、再編集した「概要版」を、3,000部作成し、区内公共施設等の窓口で配布しました。また、幸区ホームページに詳細版をフルカラーでアップすることにより、統計データを広く活用できるようにしました。</p>	4,082,000	2,499,000	見直し・改善のうえ継続
(9)	日吉合同庁舎タウンホール活性化事業	<p>日吉合同庁舎タウンホールの活性化を図り、地域で活動する市民団体等の活動成果や記録を広くアピールする場を提供し、団体活動の推進や団体相互の情報交換を支援します。(日吉出張所)</p>	<p>「幸区役所日吉出張所タウンホール使用要綱」を制定(平成19年12月1日施行)し、展示用ボード等の購入・整備及びポスター・チラシ等による広報を行いました。19年度は3団体の利用がありました。これにより、地域で活動する市民団体等の活動成果や記録を広くアピールする場が提供でき、団体活動の推進や団体相互の情報交換を支援できました。</p>	472,000	450,051	見直し・改善のうえ継続

	事業名	事業概要	実施結果(成果)	予算額(円)	決算額(円)	20年度以降の事業の方向性
(10)	「参加と協働のまちづくり」広報紙発行事業	地域の課題解決に向けた参加と協働の取り組みや、区民会議の提言内容などを広報するため、タブロイド判の特別広報紙(全4面、フルカラー)を作成し、新聞折込み等を活用して配布します。(企画課)	「さいわい広報特別号」を53000部作成し、平成20年3月12日(水曜日)の新聞各紙(7紙)朝刊に一斉折込みなどにより配布を行いました。 1面(表紙):さいわい区民フォーラム開催のお知らせ 2面・3面:(「区民会議だより」) 区民会議の開催結果、区民会議提言の報告、区民会議提言にかかわる地域での取り組みを紹介(「地域防災活動の推進」、「魅力づくりと市民活動」、「安心して子育てできる環境づくり」、「地域での高齢者の健康づくり」、「地域でのごみ減量・リサイクル」、「自転車にかかわる交通安全」)。 4面(裏表紙):さいわいマイバックキャンペーンのお知らせ、幸区提案型協働推進事業の提案募集のお知らせ、さいわい区民音楽祭のお知らせ	1,831,000	729,519	見直し・改善のうえ継続

5 健康で安心な暮らしができる区づくりを目指して

(1)	安全・安心まちづくり普及啓発事業	区民が、安全で安心して暮らせるまちづくりを目指すため、「自分たちの町は、自分たちで守る」の精神を、住民一人ひとりが持つよう意識の高揚を呼びかける普及啓発活動を実施します。 街頭キャンペーン(年2回)、町内会・自治会対象の防犯教室(年1回)、区民祭・消防フェアのイベントへの出展を行います。(地域振興課)	平成19年7月に、「子どもの安全の日」を制定し、毎月1日、10日に青色回転灯搭載車によるパトロールを実施しました。 街頭キャンペーンを10月に鹿島田駅前にて実施しました。幸防犯協会、幸防犯指導員会、幸警察署等80名が参加しました。 10月に区民祭に出展、ちらし、啓発品を配付しました。 年末キャンペーンを12月にラゾーナ広場にて実施しました。幸防犯協会、幸防犯指導員会、幸警察署等60名が参加しました。 防犯教室を平成20年1月に市民館で開催しました。町内会、自治会防犯担当者50名が参加しました。	292,000	545,836	見直し・改善のうえ継続
(2)	交通安全の普及啓発事業	正しい交通ルールと交通マナー等の交通安全知識を区民一人ひとりに普及し、交通安全意識の高揚を図り、交通事故のない安全で住みよい幸区を実現するため、普及啓発事業を実施します。(地域振興課)	幸区が神奈川県内における自転車事故多発地域に指定されたことに伴い、自転車事故を減らし、安全で住みよい幸区の実現を目指し、交通安全知識を普及し、交通事故を防止するため、フロントリフレクター(前から見える反射板)を購入し、啓発活動を実施します。 また、交通安全教室用の信号機材を購入し活用しています。機材活用により、交通安全教室も効率的に実施でき、生徒にも好評を得ています。 ・交通安全キャンペーン(春・夏・秋・年末):ラゾーナ川崎プラザ、南河原公園、ラゾーナ川崎プラザ、鹿島田駅周辺	816,000	814,275	見直し・改善のうえ継続
(3)	さいわい健全で安全な食生活推進プロジェクト	食に関する知識と食を選ぶ力を身に付けるための「食育」を推進し、地域の状況に応じた取組を図るため、関係機関や団体のネットワークをつくり、食育シンポジウムを実施します。また、高齢者の食中毒予防を図るため、家庭における食生活及び食品衛生の指導・啓発を推進します。(地域保健福祉課、衛生課)	関係機関のネットワーク会議は、1回・25名が参加し、地域の中での役割分担を整理することができました。講習会には3回延べ74名が参加し、食育への理解が深まりました。シンポジウムは1回・45名が参加し、事例発表は地域の子育て当事者であるPTAや町内会・子ども会からの参加も得られました。フロアとの情報交換も活発に行われました。いろいろな職域・地域で取り組まれている食育を共有することができました。 小冊子「我が家の食品衛生」を2,000部印刷し、衛生講習会や街頭での食中毒予防キャンペーン(8月3日鹿島田駅前実施)等において市民に配布しました。一人暮らし高齢者等に配食・会食を行っている配食等ボランティア18団体55名に対し、小冊子を用いた食中毒予防の講習会「配食ボランティア衛生講習会」等を計3回実施し、食品衛生管理の徹底を啓発しました。 さらにこども文化センター・わくわくプラザに従事する職員(100名)に対し衛生講習会を実施し、子どもたちが安心して施設を利用できるよう衛生的な指導を行いました。	493,750	490,686	終了する

	事業名	事業概要	実施結果(成果)	予算額(円)	決算額(円)	20年度以降の事業の方向性
(4)	8020運動・小学生啓発プロジェクト	乳歯と永久歯が混合している小学生の年頃から、口腔の健康を正確に認識し、口腔の健康の保持・増進に強い関心を持つことで、虫歯等の口腔疾患の予防・早期発見に役立てるため、小学生とその親を対象として、実習を兼ねた健康教室を実施します。(地域保健福祉課)	平成19年7月29日(日)健康教室「お口の中を楽しく学ぼう」を、幸区歯科医師会と協働で実施し、親子60人が参加しました。申し込み1日目で定員をオーバーするなど口腔内の関心が高く、親子で模型づくりを楽しく行うことで口の中に興味を持ち、歯の大切さを実感し、家族での口の健康づくりのきっかけとなりました。 参加者アンケートの結果では、ほとんどの人が「楽しく学べた」と答えており、親子で歯や口に関心を持って、むし歯予防の普及啓発ができました。	393,000	392,800	終了する
(5)	こども総合支援推進事業	平成18年度に設置した、こども総合支援ネットワーク会議の充実、拡大を図るため、4部会でこどもの課題、支援策等を検討します。また、乳幼児の安全な遊び場の提供と父親の育児参加を支援するため、地域子育て支援センターふるいちばを毎月第3土曜日に開所します。(こども支援室)	ネットワーク会議は年3回開催しました。部会1は年7回開催。中学校地区別に虐待等の事例検討を行いました。事例は継続ケースが多く地域の見守りが必要だが、顔が見える関係を作ることができました。部会2は年6回開催。「みんなで子育てフェアさいわい」の企画、広報活動、当日の運営を行いました。昨年を30人以上も上回る775人の参加があり、子育て中の親子が地域のかかわりに触れられたフェアでした。部会3は年3回開催しました。こどもが地域で安全安心に暮らしていくための情報交換を行い自転車マナー等の検討を行いました。部会4は年11回開催しました。今年度初めて0歳から18歳未満を対象にした情報紙を年3回、各1万部発行しました。地域の行事や子どもの情報等を発信できました。各部会を通して関係団体・委員の横の連携が強まりました。地域子育て支援センターふるいちばの毎月第3土曜日開所は地域に定着してきました。親と子が触れ合える体操講座を年3回実施しました。父親の参加も月平均30%以上と定期的に親子がかかわれる安全な遊び場の提供ができました。	773,000	704,393	見直し・改善のうえ継続
(6)	子育てフェア・情報発信事業	・ネットワーク会議の情報、所属団体の情報や区民ニーズに沿った話題を提供するため「こども情報ネットさいわい」の情報紙を年3回、各10,000部発行するとともに、「みんなで子育てフェアさいわい」を開催します。 ・働く親の子育てをサポートするために「川崎市ふれあい子育てサポート事業」を実施します。(区民会議提言) ・読み聞かせに活用してもらうため絵本を作成します。 ・子どもに関する情報を区民にわかりやすく提供し容易に検索できるようにするために、ホームページを開設します。(こども支援室)	ネットワーク会議の新部会として「こども情報ネット」を平成19年7月に立ち上げ、0歳から18歳未満までの子どもの情報を盛り込んだ情報紙を年3回各10,000部発行しました。地域で古くから取り組んでいる子どもの行事やイベント等を掲載し地域のことを発信できました。「みんなで子育てフェアさいわい」は平成20年2月16日(土)に開催。委員は企画、広報活動、当日の運営を行いました。昨年を300人以上も上回る775人の参加がありました。区民会議の提言を受け、働く親の子育てをサポートするために「川崎市ふれあい子育てサポート事業」のヘルパー養成講座を幸区内ではじめて平成20年1月に実施しました。また、読み聞かせに活用してもらうため「ゆめみのどうぶつフォト絵本」を2,200部作成し、子育てフェア等で配布しました。また、子どもに関する情報を容易に検索できるようにホームページを作成し、公開しました。	3,274,000	3,195,990	見直し・改善のうえ継続
(7)	地域防災活動の推進事業	突然の地震などの災害時には地域の防災力が不可欠であり、区民の防災意識の高揚を図るため、川崎市危機管理アドバイザーの講演会を中心にした幸区防災フェアを行います。併せて、幸市民館玄関ロビーで地域防災活動を担う団体(町内会・日赤奉仕団・消防団・民生委員協議会・水道局等)のパネル展示を行います。(地域振興課)	平成20年1月18日に幸市民館で防災フェアを開催し、約80名が参加した。また、市民館ロビーにおいて、活動団体のパネル展を開催しました。地域で活動をしている団体の方や、災害支援に参加した保健師の活動報告があり、地域住民の方から好評でした。	506,000	252,336	見直し・改善のうえ継続

	事業名	事業概要	実施結果(成果)	予算額(円)	決算額(円)	20年度以降の事業の方向性
(8)	災害時衛生管理推進事業	災害発生時の対応啓発リーフレット及び小冊子を発行し、災害時における食中毒及び感染症の発生防止等を図るとともに、平常時から区民の生活衛生知識の普及・啓発を行い防災意識の高揚に取り組みます。(衛生課)	災害発生時の対応啓発リーフレット「災害時 感染症を防ぐために・災害時 食中毒を防ぐために・災害時 水の確保のために」を20,000部作成し、防災フェアや防災訓練において配布し啓発を行いました。 小冊子「災害時の衛生管理」を発行し、災害時における食中毒及び感染症の発生防止等を図るとともに、平常時から区民の衛生知識の普及・啓発を行い防災意識の高揚に取り組みました。災害時・平常時の区民の健康を守るための啓発媒体として有用であると考えています。	868,000	659,820	見直し・改善のうえ継続
(9)	災害時歯科医療救護・啓発事業	災害時における救急歯科医療活動の充実を図るため、診療用イス、携帯型ミニライト及び自家用発電機を配備します。また、平常時においては、歯科ポータブルユニットを活用した市民の防災知識の普及・啓発・防災意識の高揚に取り組みます。(地域保健福祉課)	平成20年1月18日の防災フェア「支援活動を考えよう」の中で歯科ポータブルユニット・診療用イス・携帯型ミニライト・自家用発電機を展示し、歯科医師会が支援活動について報告しました。 実施結果及び成果 1 災害時に向けた体制の確認 歯科医師会幸区支部が、医療救護所及び各避難所を巡回して、幸区役所と連携しながら歯科医療を必要とする区民に医療救護活動を行うことを確認しました。 2 平常時の啓発活動 防災フェアでのデモンストレーションや街角防災訓練(町内会・自治会の自主防災訓練)での実践的医療救護訓練や貸し出しなど啓発活動を行いました。 3 防災フェアで展示報告 平成20年1月18日の防災フェア「支援活動を考えよう」の中で歯科ポータブルユニット・診療用イス・携帯型ミニライト・自家用発電機を展示し、歯科医師会が支援活動について報告しました。	590,000	509,250	終了する

6 その他

(1)	共通経費	協働推進事業を実施するために必要な事務経費(複写品費、郵便料など)等。	-	782,383	782,383	見直し・改善のうえ継続
(2)	まちづくり推進緊急対策事業	区政にとって緊急的な実現を求められる業務について、区長の判断に基づいて委託により実施する。	-	1,138,830	0	見直し・改善のうえ継続

予算額計 決算額計
55,000,000 40,119,007